

岡山県がん対策推進計画の目標とその現状

項目		内容	計画策定時	目標	現状	主な施策等
全体目標		がんによる死亡の減少 (75歳年齢調整死亡率)	83.1 (H18年)	66.5 (H28年)	79.4 (H22年)	
		がん患者及びその家族の 苦痛の軽減並びに療養生活 の質の維持向上				<ul style="list-style-type: none"> <li>がん患者会ネットワーク会議において、がん患者会同士の情報交換・意見交換を実施。</li> <li>がん患者への専門家派遣事業により、がん患者会が実施する研修会等へ専門家を派遣し、療養生活における不安や悩みに対して助言を行う。</li> <li>がんに関する情報サイトとして、「岡山がんサポート情報」を設置し、岡山県のがんの情報等を掲載している。</li> </ul>
分野目標	がんの 予防	未成年者の喫煙率	中学生0.5% 高校生2.5% (H18)	0%	中学生0.9% 高校生2.1% (H22)	<ul style="list-style-type: none"> <li>*岡山県男女共同青少年課「岡山県青少年の意識等に関する調査」</li> <li>県内の小学校6年生、中学校1年生を対象にリーフレットを配布し、たばこの害についての普及啓発を行っている。</li> <li>岡山県禁煙問題協議会、岡山県愛育委員連合会等と連携して禁煙の普及啓発活動を行っている。</li> </ul>
		未成年者への禁煙教育実施率	—	100%	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成10年度に改訂された学習指導要領により、小学校、中学校、高等学校において、喫煙防止についての教育が実施されている。</li> </ul>
		公共施設の完全分煙実施率	医療機関 86.4% (H17)	100%	医療機関 90.1% (H20)	<ul style="list-style-type: none"> <li>*厚生労働省「医療施設調査」：受動喫煙防止対策について措置を講じていると回答した施設の割合</li> <li>禁煙・分煙を実施している施設について、「禁煙実施施設」「完全分煙実施施設」として認定している。</li> <li>禁煙問題に関する講演会等へ禁煙問題アドバイザーの派遣等を行っている。</li> </ul>
	肝炎対策	肝炎ウイルス検査の既受診者の割合	—	増加	男性 14.4% 女性 21.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>*健康推進課「県民健康調査」(平成23年度の値は速報値)</li> <li>市町村において肝炎ウイルス検査を実施するとともに、保健所及び肝炎専門医療機関において無料の相談・肝炎ウイルス検査を実施し、肝炎患者の早期発見・早期治療に努めている。</li> </ul>
	生活習慣	食塩摂取量	10.2g (H16)	1日10g未満	10.0g (H23)	<ul style="list-style-type: none"> <li>*健康推進課「県民健康調査」(平成23年度の値は速報値)</li> <li>がんの予防に関する生活習慣については、「健康おかやま21(21世紀における県民健康づくり運動)」で、普及啓発等を行っている。</li> <li>岡山県栄養改善協議会は、減塩食の普及や健康づくり教室の開催等を通じて、生活習慣改善の普及啓発を行っている。</li> </ul>
		日常生活における歩数 (20～59歳)	男性 7,745 女性 6,873 (H16)	8,500歩以上	男性 8,129 女性 7,040 (H23)	
がんの 早期発見	がん検診の受診率	胃、肺、大腸、子宮、乳房	胃：38.1% 肺：36.0% 大腸31.9% 子宮26.2% 乳房27.3% (H19)	50%以上	胃：37.5% 肺：35.4% 大腸：31.7% 子宮：37.1% 乳房：36.3% (H22)	<ul style="list-style-type: none"> <li>*厚生労働省「国民生活基礎調査」：市町村、医療保険者、自己負担実施分を含む受診率</li> <li>岡山県愛育委員連合会においては、個別訪問によるがん検診の受診勧奨や啓発キャンペーン等を行い、受診率向上に向けた取組を重点的に行っている。</li> <li>市町村では、がん検診推進事業(特定の年齢の者に対して無料クーポン券を送付し、子宮がん・乳がん・大腸がん検診を行う事業)の実施等により、受診率の向上を図っている。</li> <li>岡山県美容組合との協働による県内美容室への検診受診勧奨用ポスター等の掲示、地域の団体等に向いての講演会の開催などの普及啓発を行っている。</li> </ul>
	がん検診の質	精密検診受診率	胃：76.0% 肺：62.9% 大腸57.0% 子宮74.4% 乳房83.8% (H18)	90%以上	胃：78.2% 肺：76.7% 大腸：66.1% 子宮：67.3% 乳房：78.1% (H21)	<ul style="list-style-type: none"> <li>*厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」：市町村におけるがん検診の精密検診受診率</li> <li>「岡山県がん精密検診結果管理収集事業」により市町村が実施するがん検診の精密検診の結果を収集・分析し、検診精度の維持向上を図っている。</li> <li>「岡山県生活習慣病検診等管理指導協議会」において、検診の評価等を行い、実施方法や精度管理のあり方について市町村及び検診機関等に適切な指導を行うことにより、検診の質の管理を図っている。</li> </ul>

岡山県がん対策推進計画の目標とその現状

項目		内容	計画策定時	目標	現状	主な施策等
分野 目標	がん診療連携拠点病院、地域連携クリティカルパス	地域連携クリティカルパスの整備	未整備	整備	整備済み (H22年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>5大がん（肺、胃、肝臓、大腸、乳房）の地域連携クリティカルパスを、がん診療連携協議会において作成。</li> <li>がん医療連携推進事業として各保健所において、クリティカルパスの普及のため地域の医療機関を対象に説明会を実施。</li> </ul>
	緩和ケア	緩和ケア病床数	79床 (H20.9)	増加	96床 (H24.4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「緩和ケア病棟入院料」の算定を認可された病院の病床数</li> </ul>
	在宅医療（療養）	在宅療養を支援する機関数	253機関 (H19.4)	増加	335機関 (H24.4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅療養支援診療所として届出を受理された医療機関数</li> <li>現状の335機関の中には、平成20年4月に創設された在宅療養支援病院を含む。</li> </ul>
	放射線療法、化学療法	外来患者数		増加	外来化学療法 5,161人 (H23.4～7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>拠点病院において外来化学療法を受診した患者数</li> </ul>
	がん診療ガイドライン	がん診療ガイドラインに沿った医療を実施する医療機関数	7機関 (H19.10)	増加	12機関 (H24.4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>拠点病院、推進病院は、指定・認定の要件となっている。また、それ以外の医療機関においても、ガイドラインに沿った標準的治療を実施しているところはある。</li> </ul>
	医療従事者	研修会の実施	7機関： 49回 (H20.4～ H20.8)	研修会の実施	7機関：181回 (H22.11～ H23.10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>回数は、拠点病院において実施した、地域の医師等を対象とした早期診断に関する研修会及び、診療連携を行っている地域の医療機関等の医療従事者も参加する合同カンファレンスの合計</li> <li>国の指針に基づく緩和ケア研修会を平成20年度から実施。（28回：H20年度～H23年度）</li> </ul>
患者、家族への支援	相談窓口、情報公開	相談支援センターの相談員の資質向上	7機関： (H19年度)	相談支援センターへの国立がんセンターの相談員研修の修了者をすべての相談支援センターへ配置	8機関：45人 (H23年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん診療連携拠点病院に対しては、相談支援センターの運営に対して補助を行っている。</li> </ul>
研究	院内がん登録、地域がん登録、研究支援	地域がん登録の精度向上	DCN ≤ 16.9% DCO ≤ 7.3% (H15年)	DCN ≤25% DCO ≤15% の維持	DCN：17.6% DCO：5.7% (H20年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>岡山大学病院と岡山県医師会を通じて、地域がん登録の普及を図るとともに、補充調査を行い精度の向上を図っている。</li> </ul>